

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2020年度 パフォーマンス向上会議情報(2020年10月30日(金)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2020年10月30日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【地下水バイパス設備換気フィルタの点検実績の誤記と点検周期逸脱について】</p> <p>当社社員にて、地下水バイパス設備の次年度点検計画を作成するため、過去の点検実績一覧と点検記録を確認したところ、点検実績一覧では完了となっているが点検記録がないものが4機器あることを確認。</p> <p>調査したところ、4機器ともタンクの点検は終了しているが、いずれもフィルタの交換が未実施であり、そのうち2機器は点検周期(フィルタ交換周期)を逸脱していることが判明。</p> <p>フィルタの健全性は6年と評価されており、当該フィルタは前回点検から6年を超えていないことからフィルタ機能に問題なしと判断。今年度中にフィルタ交換を実施予定。</p> <p>今後、原因調査及び再発防止策を検討予定。</p>	G II	10月27日
2	<p>【地下水バイパス設備一時貯留タンクの点検記録作成漏れについて】</p> <p>当社社員にて、地下水バイパス設備の次年度点検計画を作成するため、過去の点検実績一覧と点検記録を確認したところ、点検実績一覧では一時貯留タンク点検完了となっているが点検記録がないことを確認。</p> <p>調査したところ、点検は実施していたが、2016年度から2019年度の点検記録が作成されていなかったことが判明。</p> <p>原因は、点検内容がタンク接合部外観漏えい有無確認のみだったため、担当者が点検実績のみ完了とし点検記録は作成しなくても良いと誤解していたことと推定。</p> <p>今後、原因の深掘りと再発防止策を検討予定。</p>	G II	10月27日